

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 474

政策体系	24	事業分類	ソフト事業	所管部局	農林商工部 商工観光課
会計	一般会計	科目	7. 商工費 - 1. 商工費 - 3. 観光振 現年		
事業名	観光宣伝事業				
細事業名	観光宣伝事業				
評価表作成者				農林商工部 商工観光課	大谷洋史

1. 事業の概要

全国的に知名度があり、先進的な観光地として事業を行ってきた美山のネットワークを活かしながら、「かやぶきの里 美山」の南丹市として、美山を軸に市内の観光資源のPRを行い、知名度を向上し、誘客を図る。また近隣市町の亀岡市、京丹波町との連携による観光PR活動にも取り組み、魅力的な広域観光圏としての京都丹波エリアへの誘客を図っていく。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

観光地としての市全体のレベルアップと知名度を向上させるための事業。
施策目標として定める「観光入込客数200万人」を目指す。

② 事業を実施する必要性

本市においては、南丹市全域を宣伝・PRする組織・機構がまだ成熟しておらず、また他に宣伝等を行う事業がないため、施策目標実現のためには本事業が必要不可欠である。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	2,579	2,404	2,333	1,120	3,500	2,610	2,610
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0		
財源内訳								
使用料・手数料等	千円	0	0	480	638	638	638	638
国・府支出金	千円	0	0	0	200	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	千円	2,579	2,404	1,853	282	2,862	1,972	1,972
職員等の従事人員	人/年	—	1.25	0.75	1.30			
人件費	千円	—	8,490	4,904	8,703			
事業費総額	千円	—	10,894	7,237	9,824			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

南丹市観光（アクセス）マップ（20000部）483,000円
観光パンフレット（南丹あったか便り）改訂増刷（13000部）499,800円

5. 事業結果の概要

知名度向上と市内の観光スポットを広く知ってもらうため、機会あるごとに観光パンフレットの配布等によるPRを行うとともに、情報の発信や広域のネットワークをいかした活動の中で地域事業者と連携した物販を行い地元の食材をPRすることができた。

6. 活動の詳細

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

全国的に知名度のある美山「かやぶきの里」を軸として市域全体の観光資源のPRを行った。限られた予算と人員の中で各種イベントでの観光PRや旅行エージェント等への情報提供により知名度の向上を図る地道な取り組みができた。
年々削減の本事業予算で実効性のある事業展開を模索する中で施策目標である「観光入込客数200万人」達成に向け継続した取り組みを行う。
また、山陰本線(京都～園部間)複線化を契機に京都市内観光客を本市に誘客するための工夫を行いたい。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

全国的に知名度のある美山「かやぶきの里」を軸として市域全体の観光資源のPRを行った。限られた予算と人員の中で各種イベントでの観光PRや旅行エージェント等への情報提供により知名度の向上を図る地道な取り組みができた。
年々削減の本事業予算で実効性のある事業展開を模索する中で施策目標である「観光入込客数200万人」達成に向け継続した取り組みを行う。
また、山陰本線(京都～園部間)複線化を契機に京都市内観光客を本市に誘客するための工夫を行いたい。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
観光地としての市全体のレベルアップと知名度を向上させるための事業展開について議論した。
- ②当該事業のアピール事項
宣伝活動により特産品の販売拡大に貢献でき地域の活性化に繋がる。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
「観光入込客数200万人」を目指した宣伝及び情報発信。